



2022年2月発行
 社会福祉法人 ありのまま舎
 (障害者自立企画)
 発行責任者 高橋 治浩
 編集責任者 白江 浩
 編 集 佐藤 環
 〒982-8544
 仙台市太白区西多賀4丁目19-1
 TEL022(243)1300
<http://www.arinomamasya.or.jp>
 E-mail houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp

さとう宗幸さんクリスマスコンサート、動画で開催

昨年12月、歌手のさとう宗幸さんが動画によるクリスマスコンサートを開催して下さいました。例年、地域の方を招いてクリスマスコンサートを開催していましたが、新型コロナウイルスのため二年続けて中止となり、今回も動画によるクリスマスコンサートとなりました。さとう宗幸さん、高橋佳生さん、庄子眞理子さん、翼t askuさんが歌とメッセージをお寄せ下さり、自立ホーム、太白ありのまま舎、亘理ありのまま舎の3事業所で入居者とスタッフが観賞しました。

大きなクリスマスツリーをみんなで飾りつけし、ホールに飾ってコンサートを楽しんだ事業所もありました。入居者の方々はクリスマスソングを聴きながら、リズムに合わせて手拍子をする方、身体を揺らしながらリズムを楽しんでいる方などおられました。「今年も宗さんに会えて良かった。」など入居者の方から感想がありました。



太白ありのまま舎



亘理ありのまま舎

最後に宗幸さんから「早く皆さんと会えることを楽しみにしています。来年は是非お会いしましょう。」とメッセージをいただきました。開催においては入居者同士の間隔をとり、密にならない様に日にちを分散して、声援ではなくできるだけ拍手をお願いするなど感染症対策を実施しました。

私たちのために心のこもったクリスマスプレゼントをいただきありがとうございます。

薫る風

エッセンシャルワーカーと言われる人々は、感染拡大にあっても休めず、リスクの高い人々や業務を続けなければならぬ人といふことなのだろうか？この言葉自体、私自身あまり馴染みがなく、正しく定義できない。新型コロナウイルスのオミクロン株の感染力のすさまじさは世界的に予想以上と言われる。基礎疾患・障害・高齢等重症化リスクを持つ人々への感染も日に日に急増している。もはや新たに打つ手がなく、これまで通りのことをより丁寧にやる他ない。万全と思われている感染予防も決して万全ではない。だからだろう尾身会長がマスクの素材、つけ方まで細かく話されたのは。同様のことがこれまでも指摘されてきた。マスクだけではなく、手洗いの仕方、換気のタイミング、消毒方法、距離の取り方、仕切りの仕方等々、やっているようでできていないことは多い。当舎でも入館にあたり布マスクの方には付け替えをお願いしている。手洗いの講習は毎年のように行っている。それでも万全とは言えない。そんな生活と自粛が2年も続けば、誰でも不安や疑問、不満が溜まる。それでもエッセンシャルワーカーが、耐え続けるのは高齢者、障害や難病の人というカテゴリーではなく、眼前のAさんの暮らしと生命を知っているからだろう。プライベートタイムもその思いの中で暮らしている。それでも2021年の1年間に発生した福祉施設でのクラスターは一万五千件を超えた。確かに休めない。在宅ワークもできない。逃げ場がない。適当に手を抜くこともできない。ちよつとの油断も許されない。国民全てが不安の中で耐えている。自分たちだけではない。だから愚痴も言えない。なかなか前向きにもなれない。それでも入居者・利用者に真摯に向き合い、良い「ケア」を目指している。

(白江浩)

西多賀エリア

【法人本部】

拡大感染防止委員会

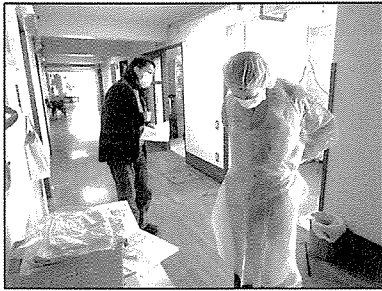
毎月第3水曜日に法人主催で拡大感染防止委員会を行っています。1月に開催された会議ではワクチン3回目接種の情報と課題を共有しました。2回目接種から6カ月経過した方から接種券が届いていますが、入居者については外部に出かけての接種は困難で前回と同じく巡回接種(嘱託医)になります。しかしまだ接種券が届いていなかったり、薬液の見通しが立っておらず日程が未定です。スタッフについては入居者同様巡回接種か、個人で大規模接種等の予約を取って行く選択肢があります。が、副反応や勤務状況も考慮し調整が必要になります。

抗原検査については無症状、軽症者が多いため管理者が必要と判断した時や症状が疑われる時に行うことになりました。さらに今回新たに換気について協議が行われ、これまで各事業所の判断で行っていた換気は根拠を持ってマニュアルを作成し、各事業所で二酸化炭素濃度計を設置することになりました。面会や会議の時など持ち運びをしながら必要な場所で正確な測定と換気の励行を実施していきたくと思います。

【自立ホーム仙台ありのまま舎リビングセンター】

コロナ対策と個人防護具着脱シミュレーション研修

コロナ流行が続いている中、自立ホームでは既にゾーニングを行っていますが、この度個人防護具の着脱の研修を行いました。障害者支援施設「太白ありのまま舎」の感染部会より指導をいただき、自立ホームのゾーニングにあわせた動線と備品の設置場所も確認いただきました。太白ありのまま舎の勉強会にも参加させていただきました。また太白で制作した着脱シミュレーションのDVDも参考にさせていただきました。



グループホームでは防護具を行った感染対策は初めてで、特に最も必要な防護具の着脱の手順、根拠を確認しながら実施しました。実際に防護具をつけてケアを行うと動きずらくなることも感じました。

グループホームは居室数もケ

アスタッフの人数も限られているため感染者が出た場合に誰がどう動くか、どこに何を設置し誰かが迅速に動けるようにと思います。スタッフで今後定期的にシミュレーションを行い、習得していきたくと思います。

(佐藤環)

新しい入居者が

入居しました

1月に新しい入居者が入居されました。これまでご家族とアパートで暮らしていましたが、歩行や移動が大変になり車椅子で生活できる住まいを探しておられました。進行性の難病のためリハビリを続けていきたいと希望があり、訪問リハビリを週2回利用し、今後は外部でリハビリができる場所も探していきたいとお話があります。入居に合わせてトイレに手すりを設置し、浴室ではご本人が手すりをつたって安全に歩く動線を整え、手すり付きのシャワーチェアも準備しました。

グループホームでの新たな生活が始まりご本人が希望する生活を一緒に考え、支えていきたくと思います。

(佐藤環)

【サポートケア仙台ありのまま舎

【難病・障害者相談支援センター】

障害者支援施設に入所された方を新しく担当することになりました。もともと自宅でご家族と暮らしており、地域の生活介護事業所に通所されたり、ご自分で買い物に出かけたりして、過ごされておりました。

入所して数か月経ちました。が、新しい環境、人間関係、日中の過ごし方に戸惑いを感じながら過ごされております。面談の時には、まだ周りに遠慮していることや、以前通所していた事業所のご友人と会いたいといったお話を伺いました。

新しい環境に慣れるまで毎日緊張の連続で、気疲れすることもありと思いますが、そのような中でもご自分の得意なパソコンを活かしてできることがないか考えておられます。やりたいと思っっていることを実現できるように、施設の職員の方とともにサポートしていきたいと思っております。

(石黒ゆに)



茂庭台エリア

【難病ホスピスケア太白ありのまま舎】

【事務局】

「ピンポン、ピンポン」と玄関の方から鳴り響くチャイムの音に椅子から立ち上がり、小走りに向かう日常が当たり前になりました。新型コロナウイルス感染症予防対策として、玄関先での対応に変わったからです。物を受け取るだけの単純作業の様にも思われがちですが、これをきっかけに各業種の宅配の人や郵便配達の人など様々な方々とこういう時期だからこそ、双方のちよつとした気遣いから生まれる声掛け、表情といったもので関係性が気持ちよく、プラスに働きかけているように感じます。

これからも与えられているこの波動を丁寧体感していきたくと思っております。そんな事務局スタッフですが、今年の冬は雪が多く小型除雪機を稼働しながらも人の手でアクティヴィティスタッフと一緒に除雪を行っています。道路を挟んだ消防署では同じ時間帯に除雪を行っています。体が鍛え方が全く違う為、あつという間に終わってしまいます。私達は、就業前のこの運動を、体脂肪燃焼トレーニングと考え、茂庭台の冬を乗り切りたいと思っております。

(栗原千賀子)

【チャイルドケア
仙台ありのまま舎保育園】

まだまだ寒さは厳しいですが、暦の上では春の始まりですね。ゆっくりと暖かくなり、ふわっと明るい色の花が咲き始め、春を迎えます。新しい年度を迎える楽しみでもあり、なんだか寂しくもあります。

2月3日は豆まき会を行いました。子どもたちは元気いっぱい鬼退治しました。おなかの中のいたずらをしてしまう鬼は退治できたかな。

今は退治できなくても、この伝統行事を毎年行うことで、新しい年に向けて心の整理をして心身ともに成長していくものなのだなど大人になるにつれて気が付いたように思います。子どもたちもそうしてゆっくりと成長していくのでしょうか。

子どもができることが増えていくと、ついついもつとできるようになってもらいたいと大人は焦ってしましますが、自分の時はどうだったか大人に急かさず嫌だったことはいないか、ふと立ち止まってみたいと思えます。できないことも、それぞれのペースでできるようになります。時々一緒に立ち止まりながら、子どもの「自ら育とうする力」を育てていきたいですね。

(春日麻里)

名取エリア

【サポートケア名取ありのまま舎
(難病・障害者相談支援センター)】

今回の「相談支援事業所ではこんなこともやっています!」ではスキルアップとネットワーキング作りについてふれたいと思います。

この度、宮城県・仙台市医療的ケア児等コーディネーター養成研修に参加しました。医療的ケア児等コーディネーターとは、医療的ケアが必要なお子様たちが地域で暮らすために、発達段階に応じた支援体制を整えたり、地域と家庭の状況をふまえた支援計画を通して多職種チームをつくる役割を担います。

研修の前半2日間では医療的ケアの内容や病院から在宅に移行する際の支援について知識を深めました。また、後半2日間は相談支援専門員と医療従事者で構成されるグループで医療的ケア児とその家族の生活について考えたり、実際に支援をしている医療的ケア児についての事例検討を行うことができました。

研修参加は、知識や技術を習得すると共に、実際に現場で活躍する支援者との出会いの機会にもなります。相互の支援について情報提供や助言ができる関係づくりを心掛けていきたいです。

(澤田石裕子)

泉南エリア

「祈りのピアノを弾かせて頂
けませんか」
ピアノコンサート開催

「祈りのピアノを弾かせて頂けませんか」とのファクスが12月上旬、亘理ありのまま舎に届きました。ファクスをお送り頂いたのは、福島県新地町にお住いの荒千恵子様からでした。荒様はイヴェントで一度亘理ありのまま舎のみんなのホールにお越し頂いたことがあり、十字架とピアノがあつたことを覚えていて下さり、いつか讃美歌を弾いてみたいと思つて下さつていたそうです。

新型コロナウイルスの感染状況も落ち着いており、感染対策を取らせて頂いた上での開催をお伝え頂いたところ、快くお引き受け頂きました。

12月22日(水) 10時30分、11時の間の短い時間でしたが、入居者の方、外部利用の方で聴いて頂くスペースを分けて演奏を聴かせて頂きました。入居者の方々はピアノ演奏を朝から楽しみにされておられ、20分の演奏の間とても真剣な表情で聞き入っていました。

荒様が弾く様子を見て、「自分も一緒に弾こう」とされる利用者の方、演奏後に「癒された」との感想を伝えて下さった利用者の方もおられました。

(小松美穂)

【難病ホスピスケア亘理ありのまま舎
(ケア)】

開所から間もなく3年を迎えるにあたって、入居者の方の満床、ショートステイ利用者、生活介護利用者の増加と新型コロナウイルス対策と共に進んできました。

現在もショートステイ利用者の方は1日3名までと制限をして受け入れを続けています。

また入居者の方の増加に伴い、必要なケアの量も当然増加しています。ケアについては入居者・利用者の安心・安全を第一に考え、日々交代勤務の中、ケアスタッフ一丸となって取り組んでいます。

これまでの歩みの中で大きな力となったのは、介護の仕事の経験してきたスタッフの力(経験値・アイディア)、そして経験のないスタッフも一人一人が入居者・利用者のケアの質について考えて取り組んできたことだと思います。

しかしまた3年の経過で、改善していかなくてはならない事も多く、入居者・利用者の方々、そしてご家族からお力をお借りして、お一人お一人のより良いケア・支援について進めていきたいと考えております。

(金子仁)



贈る人 贈られる人の気持を大切に...

FLOWERED
花のフワード

虹の丘本店 仙台市泉区虹の丘4-2-9 TEL022-375-4411
泉中央 SELVA 店 仙台市泉区泉中央1-4-1 TEL022-371-0311
北仙台店 仙台市青葉区昭和町3-40 TEL022-728-4411



オンラインショップでは
24時間ご予約承ります。

http://www.flowered.jp/

【サポートケア亘理ありのまま舎 基幹相談支援センター】

亘理町では、福祉課、地域包括支援センター、社会福祉協議会、当センターで、権利擁護に関する情報共有会議を行っています。会議を重ねる中で、亘理町の現状として、日常生活自立支援事業から成年後見制度への移行が課題となっていることが見えてきました。

そこで、当センターでは、亘理町にお住まいの障害のある方とそのご家族を対象に、日常生活自立支援制度について知って頂く機会として、研修会を開催することに致しました。

研修会では、宮城県社会福祉協議会みやぎ地域福祉サポートセンターから、日常生活自立支援事業の説明など頂き、亘理町社会福祉協議会からは、亘理町における本事業の利用(支援)状況など、具体的にお話を頂く予定です。

障害のある方の親なき後の生活を心配されるご家族は多くいらっしゃると思います。研修会の企画も含め、これからも、障害のある方やそのご家族の不安が少しでも軽減できるよう、寄り添いながら支援できればと思います。

(馬場美和)



【サポートケア県南ありのまま舎 (難病・障害者相談支援センター)】

年明けから相談支援事業所では、新年度に向けて様々な障害福祉サービスの利用についてのご相談依頼が多く見られます。事業所の情報提供や見学同行、サービスの利用調整、必要に応じて会議開催などご相談の内容では様々な対応を求められます。

例えば、保育所や幼稚園に通園の未就学の親御さんからは放課後や休日の過ごし方などについてのご相談依頼が多く、また高校卒業を迎える学生に対しては進路先への就労相談と、この時期は教育機関との情報共有を図る機会が増えます。

情報共有を図ることは大切で、ご本人が必要とする適切な対応や切れ目のない支援を次に担う支援機関などに(学校や就労事業所など)丁寧に引き継ぎ、ご本人たちが安心して福祉サービスの利用につなげると言った橋渡しの大切な支援であると思

い対応させていただいています。これからもひとりひとりの相談者の方が安心していただけるような相談員を目指し、自己研鑽に努めていきたいと思

(蒲生豊二)



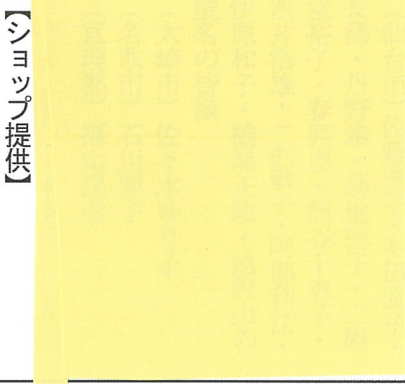
「ご支援頂きありがとうございました(敬称略)」

【書き損じはがき等】

21 12/22
22 1/22

【バザー提供】

21 12/24
22 1/20



【ショップ提供】

21 12/29
WAVE (東京都) 株式会社MIND (川尻誠)

「ボトルカンパありがとうございました(敬称略)」

21 11/27
22 1/22

ヤマザワ茂庭店 (太白区) 8,407円

「難病ホスピス太白ありのまま舎」が開設された時より、入居

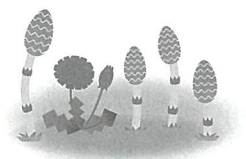
者・スタッフにとりまして身近でかけがえのないお店です。月一回のバザー会の会場としても大変お世話になっており、心より感謝致しております。(鈴木一彦)

ありがとうございました。

【バザー開催日のご案内】

《2022年3月》

- 1日(火)ヨークハム山田鉤取店 (太白区)
- 3日(木)ヨークハム上和町店 (若林区)
- 8日(火)ヨークハム南宮成店 (青葉区)
- 10日(木)鶴ヶ台生鮮いちば (宮城野区)
- 15日(火)ヤマザワ茂庭店 (太白区)
- 24日(木)鶴ヶ台生鮮いちば (宮城野区)
- 26日(土)ショップセル (仙台ありのまま舎)
- 29日(火)袋原(向日整ライフ) サポートセンター・太白区



山田かぎとり眼科

022-748-7657

| 診療時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日・祝 |
|-------------|---|----|---|---|---|----|-----|
| 8:30~12:00 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休診 |
| 14:00~17:00 | ○ | 手術 | ○ | ○ | ○ | 休診 | 休診 |

診療に関するお問い合わせや当院に関するご質問、ご要望などお気軽にお問合せください

〒982-0818 宮城県仙台市太白区山田新町82 (K'sケースデンキ仙台太白店そば)

ありのまま倉後援会 (敬称略)

21 12 / 25

22 1 / 25

【2021年度個人会費】

以上一口

【2022年度賛助会費】

【新規会員に入会頂いた方】

新規にご入会いただいた方もおられました。ありがとうございます。

(事務局 佐藤環)

【自販機販売設置支援】

◆サントリーブバレッジ

12月分の売上の一部をご寄付頂きました。

こくみん共済coop

宮城推進本部 1,294円

ありのまま舎 (自立ホーム・

太白ありのまま舎・サポートケ

ア県南・巨理ありのまま舎

11,154円

◆株式会社ミチノク

21 10 / 12月分売上

寺嶋建設工業株式会社

6,210円

日下亜弥

1,520円

県南エリアコミュニティ地域

生活支援拠点

9,098円

「協力ありがとうございました (敬称略)」

【本部】

◆会報発送のための帯封の糊付けを、仙台西高等学校JRC有志・東北学院榴ヶ岡高等学校有志・個人の皆様にお手伝いいただきました。

◆会報の折り込みは、新型コロナウイルス感染症予防対策をとりながら、日本基督教団東北教区婦人会のいずみ愛泉教会の皆様にお手伝いいただきました。

◆バザー会では、厳しい寒さの中、販売や片付けなどお手伝いをいただいています。また、毎月一回のショップセールの会場でも準備や片付けなどのお手伝いをいただきました。

【太白ありのまま舎】

新型コロナウイルスによる感染症及びインフルエンザへの予防のため、外部からいらしていただくに行うヴォランティア活動は中止しております。

◆仙台シルバーネットの皆様による「読書会」

◆茂庭台ボランティアグループの皆様による「気ままに書く会」(書道)

◆宮城県車いすダンス協会様による「車いすダンス」などの活動は利用者の生活への変化や生きがいなど大きな役割を担ってくださっています。また皆様にお会いできますことを心待ちにしております。(中村悦子)

「ありのまま倉運営協力寄付金」
21 12 / 9 / 12 / 29 (敬称略)